

大好きなお母さん

江田 苑未

「ありがどうの反対言葉は？」とお母さんに聞かれました。反対言葉の遊びをしている時でした。「高い」の反対は「低い」、「右」は「左」などと当てっこして遊んでいた。

「ありがどう？」なんだろう？「ありがたくない」から「めんどう」かな、なんかちがう気がしました。

お母さんは今でも、宿題をみてくれます。仕事をいっぱいやって、いそがしいはずなのにいろいろしてくれます。ゲームや料理もそうだ。いっぱいやっているのにもっとやってくれようとする。

お出かけするときも、ぎりぎりまでかたづけしたり、もっていくのみ物やおやつ、かさのじゅんぴおしぼり、ぼう子などもしものためにいつもおそくなり荷物も多くなる。みんなのわすれ物をかくにんして自分のスマホをわすれたりします。

学校に行く時もわすれ物がないかうるさいほど言われます。「もう言わないでよ」と思うこともある。「行ってきます」した後、水とうやハンカチをもって追いかけてきます。

いつもいっぱい私たちにしてくれようとしています。おとうさんやお姉ちゃんにもしてあげています。いつも私たちのために一生けん命きつと仕事もこんなふうに行っているんだろう。

いつもわらっている。失敗してもわらってとてもおもしろい。晴れの日のお出かけの時かなんかもってきて雨なんかふらないし、じゃまだと思う。でも時々ふってきて、その時はとも助かる。

みんながねた後に後かたづけやあらい物をいつもやってくれます。つかれて休みの日はいつまでもねている。

「ありがとう」の反対言葉は「あたりまえ」だと、お母さんがおしえてくれた。「えっ？」そうかあと考えてみた。お母さんが私にしてくれていること「親なんだから、あたりまえ」考えました。「お母さんありがとう」と考えるとあの時やってくれたことがもつと「ありがとう」になりました。水とうをもつて追っかけてきてくれた時に「もういらぬ」と言ったことがあります。お母さんがやっていることはあたりまえと考えるとそう言ってしまう。ありがとうと考えるとそんなことは言わぬ。

本当だ。ありがとうの反対はあたりまえ。すごいお母さんと思つた。

「同じ出来事でも、ありがとうと思うと有するものがたくさんふえてくる。あたりまえと思ふとないもの、ふまんがたくさんふえてくる。ありがとうと思う方が得だよ。」と教えてくれた。考えてみた、そうだと思つた。

だからお母さんの周りには、ありがとうがたくさんあることが分かりました。言葉つてふしぎな力がある。大好きなお母さん。